

RI2820地区

# 水海道ロータリークラブ



世界へのプレゼントになろう

2015-2016年度 RI会長  
K. R. ラビンドラン 氏

**例会予定** 5月18日 外部卓話  
5月25日 次年度クラブ協議会

VOL. 53 No. 36(通算No. 2477)

2016年 5月11日(水) 例会プログラム

点 鐘  
ロータリーソング・四つのテスト  
ビジター紹介  
出席報告  
SAA報告  
諸報告  
幹事報告  
会長挨拶  
外部卓話 常総警察署長 蒨 靖夫様



クラブ創立当初のバナーは、ロータリーのマークに「水」の字をあしらったものでしたが、創立10周年当時、バナーを変えたいという意見が出て、研究検討の結果出来たものが現在のものです。鬼怒川と小貝川にはさまれた水海道は、昔から水路を利用して、江戸に通じる要地として繁栄し、川との関わり合いの深い所です。

鯰は「如拙」の「瓢箪鯰」にあるよう、また幸を招く魚として、川魚の代表的な魚です。この「鯰」と「川」が当地の特色をもっとも的確に表すだろうと云うことで、東京女子美術学校講師であった増淵淳子先生が両川の清流に黄金の鯰を配して図案化したものです。

2015-2016年度 会 長 海老原良夫 幹 事 松崎隆詞

創立 1963年9月25日

《例会場・例会日》

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 2790  
常陽銀行水海道支店内 3F

毎週 水曜日 12:30~13:30 ☎0297-22-1251

《事務所》

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 3386  
釜久ビル 3F

TEL0297-30-0875 Fax0297-30-0876

E-mail [mitsu-rc@lapis.plala.or.jp](mailto:mitsu-rc@lapis.plala.or.jp)

URL <http://www.mitsukaido-rc.jp/>



## 5月は青少年奉仕月間

例会報告 VOL. 53 No35(No. 2476) 4月27日(水)曇り (司会 石井康弘委員長)

本例会での主な事項

◎会長挨拶

◎外部卓話 茨城県議会議員 飯田智男様

### ビジター

茨城県議会議員 飯田智男様

### 幹事報告 松崎隆詞幹事

週報受理クラブ 水戸RC、水戸西RC、水戸南RC、水戸東RC

例会変更通知 藤代RC 5月2日 休会 5月9日(月)15時より 国技館

### 臨時 理事・役員会報告

1. 熊本地震義援金について・・・1000円×55名＝55000円を地区へ送ります。クラブとしては、5月の理事会において決めます。

.....承認されました.....

### 会長挨拶 海老原良夫会長 4月27日「G挨拶三役揃い踏み」



RI第 2820 地区大会が 4 月 16 日～17 日につくば市で開催され、倉沢G、白戸Gエレクト、保延Gノミニーの「G挨拶三役揃い踏み」を拝聴してまいりました。流石に県内ロータリアン 2000 名の指導者に相応しい三人三様の味わい深いスピーチでした。

「スピーチは文章の一種」とも云われますが、古今東西、推敲を重ね洗練を極めた文章から成る名高い政治家の名演説は、感銘深い文章としても人々の記憶の中に生き続けることがあります。

たとえばチェコスロバキア、プラハ生まれの劇作家であり大統領でもあったヴァーツラフ・ハヴェル(1936～2011)のスピーチもその一例でしょう。

ハヴェルは1968年「プラハの春」と呼ばれる改革運動がワルシャワ条約機構軍によって潰された後の反体制運動の指導者として、1977年にヘルシンキ宣言に謳われた人権擁護を求める「憲章77」を起草しました。以後、幾度となく逮捕・投獄されますが、反体制勢力を結集した「市民フォーラム」を結成し共産党政権打破(所謂ビロード革命)を成し遂げ1989年チェコスロバキア連邦最後の大統領に選出されました。

ビロード革命の翌年1990年に『あり余る自由を前に今なにをなすべきか、正直定かではありません。韻文の世界が終わり、散文の世界が始まるのです。祝祭が終わり、日常が始まるのです。』という名演説を遺しています。彼はチェコスロバキア解体後の1993年に新たに成立したチェコ共和国の初代大統領に就任し2003年任期満了で退任しました。

退任以後は民主化運動時代に逮捕・投獄されたことが原因で健康状態が悪化し肺癌を患って入退院を繰り返すようになりましたが、それでもなお街のカフェや路上で市民と接するなど、チェコの『自由と良心』を体現している姿勢と共に国民から親しまれていました。

2011年、75歳で没。生前の偉業を偲び、2012年10月5日からプラハのルズィニエ国際空港がヴァーツラフ・ハヴェル・プラハ国際空港と名称変更されました。

彼はプラハの名家実業家の息子として生まれながら1948年、共産体制に全財産押収されたために勉学を止めて働かねばならなくなり、プラハのカフェで働きながら文学の土台になる本質を得たのでした。

・・・「スピーチは文章の一種である」とするならば、私はチェコの劇作家であり大統領であったヴァーツラフ・ハヴェルのスピーチにこそ、その源流を辿るのです。・・・

ならばこそ私は地区大会での「G挨拶三役揃い踏み」を心して拝聴してまいりました。

## 外部卓話 茨城県議会議員 飯田智男様 「関東・東北豪雨からの復興への取り組みと今後の課題」



- (1) 常総市の復興計画について
- (2) 鬼怒川緊急対策プロジェクトについて
- (3) 茨城県の災害・防災対策について
- (4) その他

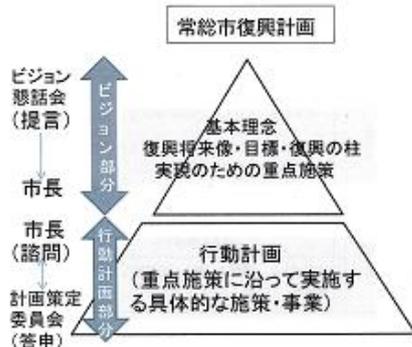
### 復興計画と復興ビジョン

「常総市復興計画」を策定するにあたり、水害前よりも能力のある常総市を再生・創造していくため、未来の常総市の姿を明確にするために、その指針となる「常総市復興ビジョン」を策定しました。

これは「常総市復興ビジョン懇話会」で議論を重ね、市に愛着された「常総市復興ビジョンの青子孫」をもとに、昨年12月に市が策定したものです。

復興ビジョンは、復興を遂げた常総市のあるべき姿であり、市民が抱く目標です。しかし、その目標を実現するための具体的な手段を示さなければ、目標は単なる夢で終わってしまいます。

そのようなことから、復興ビジョンで掲げた将来像を実現するための施策や事業といった行動計画部分までを盛り下げて検討し、「復興ビジョン」に「行動計画部分」を加え、「復興計画」とします。



### 事業計画

「きもち」「くらし」「まもり」「ほり」の4つの柱を中心に復興を進めます。復興計画における各柱の位置付けは以下のとおりとなります。

#### 全体体系図

基本理念	柱	基本方針
川と田を思い、川とともに暮らす 「住みたい」を大切にする常総	きもち	基本姿勢 住みたいを大切に 市民がみな、常総のまちを愛し、人を愛し、明るい未来をイメージしている。
	くらし	基本姿勢 川とともに暮らす 市民がみな、「川との共生」という原点に回帰し、常総だからこそ日々の暮らしを堪能している。
	まもり	基本姿勢 みんなで災害に備える 市民がみな、まさかにも備え、いざという時に行動できる、常総ならではの「守り」の力を手にしている。
	ほり	基本姿勢 新拠点（常総インターチェンジ周辺）を形成し、農研工復興を推進する 市民がみな、常総の「強み」を理解し、力をあわせてさらなる発展を目指している。

### 『鬼怒川緊急対策プロジェクト』 概要

鬼怒川下流域(茨城県区間)において、「水防災意識社会」の再構築を目指し、国、茨城県、常総市など7市町が主体となり、ハードとソフトが一体となった緊急対策プロジェクトを実施

**【ハード対策】(事業費合計 約600億円)**

■再度災害防止に必要な河川整備を緊急的、集中的に実施。

【鬼怒川(補助事業:国土交通省)】

- 主な事業内容
  - ・堤防整備(かさ上げ・拡幅)
  - ・河堤整備
- 事業期間
  - ・平成27年度～平成32年度
- 事業費合計
  - ・約580億円
- 実施事業
  - ・河川急激災害対策特別緊急事業
  - ・河川災害復旧事業
  - ・河川大規模災害関連事業

【八間堀川等(補助事業等:茨城県)】

- 主な事業内容
  - ・堤防整備(かさ上げ・拡幅)
  - ・河堤整備
- 事業期間
  - ・平成27年度～平成29年度
- 事業費合計
  - ・約23億円
- 実施事業
  - ・河川改修事業
  - ・河川災害復旧事業(補助・県補)
  - ・河川等災害関連事業

**【ソフト対策】(円滑な避難の支援)**

■住民の避難を促すためのソフト対策を沿川自治体と連携して実施。

○主な実施内容

- ・タイムラインの整備とこれに基づく訓練
- ・市町、水防団、地域住民等が参加する危険箇所(『共倒点検』)の実施
- ・ハザードマップ及び避難ルート危険区域の公表と住民への周知とこれに基づく訓練
- ・関係機関の参加による広域避難に関する仕組みづくり



### 『鬼怒川緊急対策プロジェクト』 (ハード対策)

特に被害の大きかった鬼怒川下流域において、『平成27年9月関東・東北豪雨』が再び起こった場合に被害が発生しないよう、鬼怒川で河川急激災害対策特別緊急事業等を実施し、堤防整備(かさ上げ・拡幅)、瀬水対策、河堤整備等を実施するとともに、八間堀川で堤防整備(かさ上げ・拡幅)、河堤の拡幅等を実施するなど、緊急時・集中的に治水対策を実施します。

- 河川急激災害対策特別緊急事業
 

事業概要:洪水等による甚大な災害に対して、概ね6年間の緊急的な集中投資による河川改修により再度災害防止を図る事業。

事業内容:堤防整備(堤防のかさ上げ・拡幅)、瀬水対策 等

全体事業費:約448億円\*

実施期間:平成27年度～平成32年度(6年間)

※1:平成27年度災害対策特別緊急事業推進費(約39億円)を含む
- 河川災害復旧事業
 

事業概要:洪水等により被災した施設を原則として原則に復旧する事業。

事業内容:堤防の復旧(堤防のかさ上げ・拡幅)、瀬水が発生した堤防の対策

全体事業費:約66億円

実施期間:平成27年度～平成28年度(2年間)
- 河川大規模災害関連事業
 

事業概要:堤防の整備水準を大きく上回る大規模な洪水による災害が発生した河川において、被災施設の原形復旧のみでは必要な治水強度が得られない場合に、河堤掘削などの河川改修により再度災害防止を図る事業。

事業内容:河堤掘削等

全体事業費:約64億円

実施期間:平成27年度～平成32年度(6年間)

### 【八間堀川等(補助事業等:茨城県)】

- 河川改修事業
 

事業概要:自然災害により被災した地域において、再度災害の防止対策を迅速に実施し、住民の安全・安心の確保に資する事業。

事業内容:堤防整備(堤防のかさ上げ・拡幅)、河堤整備 等

全体事業費:約17億円\*

実施期間:平成27年度

※2:平成27年度災害対策特別緊急事業推進費による
- 河川災害復旧事業
 

事業概要:洪水等により被災した施設を原則として原形に復旧する事業。

事業内容:堤防の復旧(堤防のかさ上げ・拡幅) 等

全体事業費:約2.2億円

実施期間:平成27年度～平成29年度(3年間)
- 河川等災害関連事業
 

事業概要:被災施設の原形復旧のみでは効果が限定される場合等において、被災箇所を省みて改良復旧することにより再度災害防止する事業。

事業内容:堤防の整備(堤防のかさ上げ)、河堤の掘削 等

全体事業費:約1.2億円

実施期間:平成27年度～平成28年度(3年間)
- 県単河川災害復旧事業
 

事業概要:国補助の災害復旧事業の採択要件に合致しない小規模の被災箇所等を復旧する事業

事業内容:堤防の法整え等の復旧

全体事業費:約2.2億円※県単4河川単

実施期間:平成27年度

# 5月は青少年奉仕月間

### 防災倉庫整備事業(新規)

H28年度予算額 1,000万、5,000万円

高度経済成長期など、今後想定される災害により避難された場合に食料や水が不足するよう新築計画を策定したことに伴い、災害対策が強化されるため、新たな防災倉庫を整備します。

【新 規】  
 予定地：水戸市内の町  
 面積：1,200㎡(約200㎡を含む)  
 整備内容：倉庫1棟(1万㎡)、仮設トイレ4基、トイレ用電源ケーブル、トイレ用コンセント等  
 特 徴：5月に完成(約20日) 地域の避難経路の利便性が高い。大型トラック及びフォークリフトの使用が可能となり物資搬送効率が高まる。

【防災倉庫の整備数(単位)】

年度	面積	備 考
2016年度	1,200㎡	約11万5千円
2017年度	800㎡	約8万5千円
2018年度	400㎡	約4万2千円
合計	2,400㎡	約24万2千円

【事業効果】  
 ① 災害時においても、速やかに被災者に物資を供給することが可能  
 ② 物資や食料・飲料からの支援物資を効果よく搬送し、避難者物資を被災地に送るための信頼関係を構築

### 災害対応力強化事業 / 地域防災力強化事業(新規)

H28年度予算額 200万、97.3千円

東日本大震災からの教訓を踏まえ、東北復興の経験を踏まえ、県、市町村及び自治体職員が災害発生時に適切に対応できるよう、災害対応力及び地域防災力の向上を図るとともに、地域防災力の向上を図るための取組を実施します。

○災害対応力強化事業 予算額：48万、8,000千円

- ① 県上型防災訓練の実施  
 (I) 県上型防災訓練を平成27年度(西河村区域) 西河村が自ら実施することのできる県上型防災訓練を平成28年度、津田、土野、水戸を構築  
 (II) 高度避難本部事務局において県上型防災訓練の実施内容と連携強化等の取組を実施するたため、取組内容と合わせて県上型防災訓練を実施
- ② 支援団体職員養成定及び被災対策の検討  
 支援団体による被災対策検討会において検討し、効果的な取組を実施し

○地域防災力強化事業 予算額：17万、254千円

- ① 自主防災組織の結成促進  
 災害時に地域で働きあふることの重要性を説明し、自主防災組織の結成を促進
- ② 防災リーダーの養成  
 いっしょに防災大学を履修し、自主防災組織のリーダーを養成
- ③ 地域における防災活動に対する支援  
 (I) 自主防災組織の自主防災活動等推進費補助金  
 市町村が行う自主防災組織向けの防災講習会に対する補助  
 (II) 自主防災組織の自主防災活動等推進費補助金  
 市町村が行う自主防災組織向けの防災講習会に対する補助

事業名	リーダー数	結成団体数
自主防災組織	300名	100団体
防災リーダー	1,000名	100団体
自主防災組織	500名	50団体
自主防災組織	150名	15団体

③ 災害発生時の対応  
 講習会で研修するリーダーを養成

※ 地域防災力の向上推進費を配分し、土野、水戸の事業を実施

## 出席報告 武藤康之委員

会員総数	出席者数	欠席者数	出席免除	メーク	出席率
55名	37名	18名	0名	27名	100.00%

## ニコニコボックス 大澤 清委員

入金計 26,000 累計 1,603,000

本日は飯田智男県会議員殿、卓話よろしくお願ひ申し上げます。 海老原会員  
 地区大会皆様ご苦労さまでした。飯田県会議員、本日宜しくお願ひします。 松崎会員  
 飯田さんようこそ。地区ゴルフお疲れ様でした。 斎藤会員  
 地区ゴルフ大会お疲れ様でした。本日は、飯田先生卓話宜しくお願ひ致します。 大澤会員  
 褒められました。 武藤会員  
 明日からゴールデンウィーク中、オーストラリアへ空手道の指導に行ってきます。 秋田会員  
 飯田県議様、本日卓話宜しくお願ひ致します。 石塚(克)会員  
 飯田県議、本日卓話宜しくお願ひします。 倉持会員  
 飯田様、本日の卓話宜しくお願ひ致します。 石井会員  
 飯田県議、本日よろしくお願ひします。 染谷(秀)会員  
 飯田県議会議員様、本日は宜しくお願ひ致します。 前島会員  
 春のお楽しみ会参加出来なくてすみません。 青木(清)会員  
 例会欠席しました。 雨谷・鯉沼 各会員  
 地区大会、欠席しました。 染谷(昭)会員

会報委員会 二本松恭行委員長 亀崎徳彦副委員長 本橋美章委員



地区大会写真